

普及活動検討会実施報告書

(美里) 農業改良普及センター

実施月日：令和6年2月6日

実施場所：美里農業改良普及センター

1 検討内容

No	検討項目
1	土地利用型農業法人が取り組む加工業務用になじんの生産安定
2	「北浦梨」産地の活性化に向けた、ICT活用による栽培の「見える化」
3	土地利用型農業法人の経営戦略と持続的経営の展開
4	堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者		生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	3	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	1

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
(完了課題) 土地利用型 農業法人が 取り組む加 工業務用 になじんの 生産安定	3.8	<ul style="list-style-type: none">・時期によっては出荷制限があるようなので、生産量の確保+販売先の確保に引き続き協力を願う。・夏作は大雨と猛暑により生産が不安定なことと FOEAS による土中の水分コントロールが有効なことが分かった。・夏作は気象の影響が大きく、規格外品の活用、収益につなげてほしい。・高温対策は大変だが、生産拡大を支援してほしい。・加工用になじんの生産開始から4年経過、5つの法人が連携して安定生産と継続出荷に取組み、産地化に向け大きな意義があり評価している。・加工業務用向けの販売は、定時定量、安定出荷が求められており、JAとしても販売計画を立て安定した販売に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none">・高温乾燥時の土壌水分コントロールが適切に実施できれば、冬作の苗立ち率の向上、さらには生産量の確保や収益向上につながると考えられることから、重点活動の中で引き続き支援してまいります。・新たな販路が開拓され、販売可能量が拡大すれば生産拡大にもつながると考えられます。引き続き県の関係部署等からも情報を得ながら、農協等関係機関と連携して販売先確保に向けた支援を継続していきます。
(新規課題) 「北浦梨」産 地活性化に 向けた、ICT 活用による 栽培の「見え	3.8	<ul style="list-style-type: none">・経営の見える化及び基礎知識の習得について、梨経営の何が問題でどれくらい改善され、成功、失敗の基準がわからない。・ICTの活用は梨以外でも有効だと思う。経営継承での企業参入は産地を守る事例として増えてほしいと思う。・農産物生産でのICT活用、技術の映像化など技術伝承に必要だと思う。・新規参入など若手育成、後継者育成に期待します。	<ul style="list-style-type: none">・新技術導入や気象災害への対応の費用対効果等を生産者自ら検討・判断できるように、経営の見える化や基礎知識習得を支援したいと考えています。・「北浦梨」は美里町の特産品として大切な品目なので、ICTを活用した環境要因、病

る化」		<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の減少や後継者不足に備え、ICT活用による生産技術を継承できる仕組み作りに期待します。 	<p>害虫発生及び防除等のデータ収集と情報共有により、技術を「見える化」して、若手農業者等の技術習得や継承を図り、産地の後継者育成と活性化を支援していきます。</p>
土地利用型農業法人の経営戦略と持続的経営の展開	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・環境変化時の作物収量の確保、雇用問題など集落営農法人は経営の持続に問題を抱えているので、最優先に支援してほしい。 ・4月から7月まで繁忙期が続き、長ねぎの導入は高齢の構成員の身体的負担が多いと思う。冬場の仕事として大豆選別などがいいと思います。 ・気候や社会情勢等の環境変化に対応して経営計画を見直すことは非常に重要だと思うので、引き続き支援をお願いします。 ・周年作業の平準化は多くの農業法人の課題なのでモデルとなるよう期待します。 ・さつまいもは良好な実績で、園芸部門の柱として期待します。 ・JAも経理支援のスキルを高め、土地利用型作物の指導に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JAや専門家と連携した支援の結果、交付金に対応した作付計画、園芸作物の導入、ライスセンターの整備、周年作業の平準化、人材確保育成、収益性の改善など事業計画の見直しを図られており、持続的な経営の展開に向け支援を継続していきます。
堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の改善	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料価格が高騰する中、作物への堆肥施用効果に期待したい。県内では地域間で堆肥の過不足や処理に困っており、涌谷町の成果に期待します。 ・夏黄金の弱小穂抑制は非常に気になる場所であり、今後の活動に期待します。穂揃期の亜リン酸葉面散布で増収するとの情報があるが詳細を知りたい。 ・地域資源の堆肥を麦に活用した取り組みに興味があり、今後ほかの作物に広がることを期待します。 ・手探りではあるが、目標達成に期待します。 ・涌谷町では年間2万tの堆肥利用を想定しており、耕畜連携の構築に向け効率的な施肥方法の検討に努めてほしい。 ・連作で涌谷町の麦類の収量は低下しており、収量向上に向けた支援に期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料価格が高騰する中、耕畜連携、地域資源の堆肥を活用した小麦の収量・品質の向上効果を検証し、葉面散布追肥も含めて他地域へ波及させたいと思います。 ・堆肥ストックヤードは令和6年4月の稼働予定で、大豆等への効果検証を含め、利用率向上を支援していきます。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者が経営開始資金等を活用し、短期間で農業経営を安定させ、生活できていることはいいことですが、多くの集落営農法人が収益や人材不足の問題を抱えており、新規就農者とのマッチングを進めてほしい。 ・付加価値の高い農産物の生産支援、世界農業遺産認証についても周知に協力いただきたい。 ・普及センターには生産技術や経営改善、多様な担い手の育成確保、地域計画など適切な助言指導、支援に感謝しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人等が持続可能な農業経営を実現できるように、所得向上に向けて新技術の導入や経営改善の支援を行い、人材確保・育成の取組を推進します。 ・制度改正等の情報提供を的確に行い、委員からの意見を参考に、関係機関と連携して支援していきます。

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する